

平成27年度第1回江別市経済審議会会議録（要旨）

日 時	平成27年11月16日（月） 13:30～15:30
場 所	江別市民会館21号室
出席者（15）名	会 長/中村 忠之 副会長/平澤 亨輔 委 員/井上 誠司、鴻野 徹、塩越 康晴、和田 美和、駒込 敬子、坂上 伸也、 吉川 邦俊、林 敏昭、石川 生三、金田 敏雄、秋田 耕児、中田 和孝、岡村 恵子
事務局（15）名	江別市長、経済部長、経済部次長、商工労働課長・参事、企業立地課長、総合特区推進 担当参事、企業立地課主幹、総合特区推進担当主査、商工労働課主査ほか1名
欠席者（7）名	委員 /北川 雅彦、森田 芳明
議 事	報告事項 （1） 経済審議会の所掌事務について （2） 経済部の組織機構及び事務分掌について （3） 平成27年度の経済部各課予算概要及び主要施策概要について

会議録（要旨）

経済部次長	開会のことば
江別市長	委嘱状の交付、挨拶
経済部次長	会議成立報告
経済部長	経済部職員紹介
経済部長	会長・副会長の互選についてですが、各委員の皆様からご推薦ございましたら、発言願 います。
井上委員	会長に中村委員、副会長に平澤委員を推薦いたします。
経済部長	ただいま、井上委員より会長に中村委員、副会長に平澤委員の推薦がありましたが、い かがでしょうか。
一同	異議なし
会長・副会長	会長・副会長席に移動後 順次挨拶
会長	それでは、報告事項（1）経済部の組織機構及び事務分掌について報告願います。
商工労働課長	（資料1）平成27年度経済部の機構・配置図、経済部事務分掌説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。 昨年度と比べて、組織体系は同じか。また、力を入れるために事業を増やしたものはあ るか。
商工労働長	昨年度と違う点は、総合特区推進監が経済部長兼務となった。それに伴い、企業立地推 進室長が経済部次長兼務となっている。
会長	人数的には変わらないのか。
商工労働課長	兼務をしている関係上、若干減少している。
会長	他に質問・意見はありませんか。 次に、報告事項（2）経済部各課の主要施策概要について、事務局から説明願います。
総合特区担当参事	北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区について説明。
会長	ただ今の説明に対して、質問・意見はありませんか。
井上委員	実績値は全地域の総計か。また、江別市を抽出した場合に、上昇傾向にあるか。 2015年度、2016年度の目標値が大幅に伸びているが、目標の達成の見込みはあるのか。

総合特区担当参事	実績値については、特区の指定を受けた地域全体の数値である。江別市個別の数値は出されていないため、ご了承いただきたい。企業等を訪問するし、ヒアリングした中では、輸出状況等は上昇傾向にあると伺っている。 目標の見通しとしては、これまでの実績が各年の目標値の90%程度になっており、今後もフード特区機構等の協力を得ながら、数値を少しずつ上げて事業を進めている。
井上委員	少しずつというよりも、数値が急激に上がっているように見えるが、この通りで良いのか。
総合特区担当参事	説明会等を開催し、参加企業を商談につなげていくことで、数値を上昇させていくという当初からの見通しで進めている。
会長	他に質問・意見はありませんか。
塩越委員	江別市はどういったものに取り組んでいるのか。
総合特区担当参事	江別市で進めているフード特区は加工食品が中心となっていることから、関連企業に周知し、海外への出展等を通じて輸出等の増加に取り組んでいる。
会長	具体的な商品はどのようなものがあるか。
総合特区担当参事	すでに海外への出展をしているものとしては焼き菓子があり、今後、プリンやヨーグルト等の出展を予定している。
会長	先ほどの説明を含めて質問・意見はありませんか。
塩越委員	説明の中で機能性食品の名前が挙がっていたが、そういったものも行っているのか。
総合特区担当参事	ただ今、ご説明した商品は輸出向けの商品である。ヘルシーD○については、機能性を高めて輸出代替を一つの目標としていることから、国内での販売促進のために事業を進めている。
井上委員	商品には江別産のものが多く使われているのか。農業者への経済的なフィードバックはあるのか。
総合特区担当参事	直接的な総量の把握は難しいが、地元の食材を使用した商品開発や海外への出展により、地元の農産物の需要増加も進めていきたいと考えている。
井上委員	実績としては事業実施前と比較して増えているのか。
総合特区担当参事	数字としての把握は出来ていない。
会長	他に質問・意見はありませんか。
吉川委員	フード特区の取組みの中で、様々な支援を行っているようだが、取組みの結果としてどのような効果があったのか。
総合特区担当参事	江別市内での取組みとしては、北海道情報大学で食の臨床試験を進めているところであり、件数が増加傾向にある。ヘルシーD○の認定商品数も徐々に増えてきている。現在も、市や関係機関が連携してモデル事業に取り組んでおり、ヘルシーD○の申請に向けて事業を進めているところである。
会長	他に質問・意見はありませんか。 次に進みます。旧ヒダ工場の保存・活用事業について説明願います。
商工労働課長	旧ヒダ工場の保存・活用事業について説明。
会長	ただ今の説明に対して、質問・意見はありませんか。
秋田委員	アンテナショップ以外の箇所はどのようなコンセプトで進めているか。
商工労働課長	旧ヒダ工場の文化的な価値を生かし、地域活性化、交流施設の役割を担うものと考えている。テナントのコンセプトは実施事業者の方で、集客力があり、業種の重複がないよう考えている。この事業は、テナントの家賃収入で実施事業者が工事に要した経費を返済するものであるため、集客力は必要になるが、実施事業者が様々な業種の事業者と接触している中で困難な面も多くあり、当初のコンセプトにはなり得ない可能性もあるが、人が集うことを一つのコンセプトとしているため、施設内外でのイベント実施により、集客力のある施設になるよう努めていきたいと考えている。
会長	他に質問・意見はありませんか。
塩越委員	施設は1階建てなのか。

商工労働課長	旧ヒダ工場は3階建てであったが、すべて吹き抜けにし、空間を広くしている。
塩越委員	吹奏楽のイベント等を予定されているが、ライブ等が出来るようなスペースがあるのか。
商工労働課長	テナントがすべて埋まると、限られたスペースになるが、1月中旬まではテナントの内装工事等は行われないため、それまでの間であれば、比較的大規模なイベント実施も可能と考えている。
塩越委員	ジャズコンサートを実施するのも良いと思う。
石川委員	会場へのアクセスはどのように考えているか。
商工労働課長	野幌駅北口からの動線については、鉄西線をイオン方面に進み、鉄道高架下を通る歩道も整備されており、旧ヒダ工場横に抜けられる。そのため、JR利用者は南北どちらからでも徒歩5分程度で来場可能である。駐車場については、北海鋼機との等価交換により建物と鉄道林の間の土地を駐車場として確保している。
井上委員	飲酒を伴うイベントやテナントがある場合、公共交通機関が利用できる点では良い。現在、テナントを募集している段階かと思うが、応募状況は市で把握しているのか。
商工労働課長	テナントに関しては、実施事業者が交渉をしているところであり、市が介入しているわけではない。現時点で契約をしている事業者はなく、4社程度と交渉中であると聞いている。
吉川委員	運営は市がサポートしていると考えて良いのか。
商工労働課長	市と実施事業者との間で20年間の契約を締結しているため、イベントの実施やイベントスペースの活用など市がバックアップしていく必要があると考えている。
会長	この施設は市の施設なのか。
商工労働課長	市の施設である。
会長	図書館を民間企業に委託しているという話も聞くが、本来の機能を果たしているのか問題になっている。この事業では、市の思惑と事業実施者の思惑が異なるという心配はないか。
商工労働課長	公募の段階においても、事業者が独自に行うというのではなく、市が関与して選定委員会等も開催しており、事業者と市が一体となって進めるものである。
会長	今後も検討委員会やレビュー会議は定期的に行われるのか。
商工労働課長	今後について取り決めはないが、必要となった際に召集を行う。
副会長	市民との交流をコンセプトとして考えているとのことであったが、それに関連するテナントは入るのか。
商工労働課長	テナントについては、家賃収入も考慮しなければならないため、交流を主としたテナントが1ヶ所に入ることは困難であると考えている。アンテナショップをリニューアルする中で、市民との交流が図れるものと考えている。
副会長	図面を見ると、トイレは1ヶ所で端にあるため不便ではないか。
商工労働課長	当初は、各テナントに設置する予定であったが、結果的に1ヶ所となった。利用者には不便をおかけすると思うが、ご容赦いただきたい。
副会長	交流を目的としたイベント等は何か考えているか。
商工労働課長	一つの例としては、1月に婚活イベントを別の部署で検討している。オープンが冬場の時期になるため、屋外イベントが実施できないため、再検討の必要がある。
会長	他に質問・意見はありませんか。 続いて、えべつプレミアム商品券の経済効果について説明願います。
商店街活性化担当参事	えべつプレミアム商品券の概要について説明。 経済効果については、実施主体である江別商工会議所の鴻野委員に引継ぎ。
鴻野委員	えべつプレミアム商品券の経済効果について説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。

林委員	3種類の商品券を発行する方式は全道でも稀であるのか。 また、今回のプレミアム商品券の発行による効果はどうであったか。
鴻野委員	道内では仁木町以外の市町村がプレミアム商品券の発行を行ったと記憶していますが、その中でも3種類の発券を行っているのはオホーツク管内で1ヶ所、道南地区で1ヶ所が2種類の発券を行っていると聞いている。ただ、江別市のように店舗規模ごとに商品券を分けた市町村はないと思われます。 過去、こうした商品券の発行を行った事業をみると、約8割は大規模店ででの使用になり、非常に偏った使用になることから経済効果を考慮し、広く使用されるよう使用可能店舗の制限をさせていただいた。 反響としては、当初は使い勝手が悪いといった声もありましたが、市内店舗において使用可能な商品券をポスター等の掲示により周知したところ、徐々にそうした声は解消された。 2次販売においては、販売方法に不手際があり、市民の皆様にご迷惑をおかけしたことを深く反省している。事業の効果については11月9日に無作為抽出した5,000名に対してアンケート調査を送付しており、その集計により事業検証を行っていく。
会長	他に質問・意見はありませんか。 続いて、有給インターンシップ事業について説明願います。
地域雇用・産業連携担当参事	有給インターンシップ事業について説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。
吉川委員	学生が応募する際は、企業をイメージしているのか、業種をイメージしているのか。
地域雇用・産業連携担当参事	学生はキャリアバンクと人材派遣契約を結び、市内企業に派遣する前に事前研修を行う。事前研修後に面談を行い、企業実習受入企業の中から選択し、就業する形式となっている。
吉川委員	学生の希望に応じるのではなく、キャリアバンクとの面談で決めていくのか。
地域雇用・産業連携担当参事	当然、学生の希望する企業を優先となるが、学生の就業可能な曜日や時間によって企業の就業条件等と一致しないあるため、その場合は、条件の合う企業をキャリアバンクが紹介し、マッチングする企業で実習を行うことになる。
和田委員	市内4大学となっているが、市外の大学に通学している学生は参加できないのか。
地域雇用・産業連携担当参事	市内4大学の学生が市内企業を知り、市内企業への就業につなげていくことを目的としているため、市内4大学の学生に限定している。
和田委員	江別から市外の大学に通っている学生が市内企業に就職することも考えられると思う。
経済部長	現時点では、事業を開始したばかりであるため、市内4大学の学生に限定しているが、市外大学への通学者を対象とすることについては、今後の検討課題であると認識している。
井上委員	実習受入企業は何社あるのか。 また、大学にはキャリア支援課等があると思うが、学生募集の際は、キャリアバンクが直接学生を募集するのか、キャリア支援課等と協力して実施しているのか。
地域雇用・産業連携担当参事	学生募集の際に、大学のキャリア支援課等に相談したうえで学内説明会を実施している。 現在の登録企業数は、9月30日時点で13社ある。
井上委員	13社では学生も応募しにくいのではないか。
地域雇用・産業連携担当参事	あくまで現時点の数字であり、今後も企業開拓によって増やしていく。
会長	学生サポートセンターの担当者と話したが、対象企業数が少ないと言っていた。ただ、1年生から参加でき、就業前研修を受けられるというのは非常に良いことである。

石川委員	各学生の専攻している科目に応じた企業が受入企業にあると良い。
地域雇用・産業連携担当参事	受入企業の開拓に力を入れていくため、大麻に拠点を設置し、専門の開拓員を配置している。今後、そういった企業も含めて開拓を進めていく。
会長	他に質問・意見はありませんか。 全体を通して意見・希望・補足等はありませんか。
一同	ありません。
会長	以上で終了します。